

併催見本市

Euroluce 2017 - 概要

「ウェルビーイング(幸福度:精神、身体が最適で健康な状態)」という言葉がいま注目を集めています。

人間の知覚システムで果たさなければならない重要な役割を担う近年の照明。この概要では、エウロルーチェで初めて発表されることの多い、環境条件に適応したプロジェクトを紹介します。照明はデジタル化し、カスタマイズ化されることで、より正確になりつつあります。最先端の光源に関する技術的な実験が進み、新しい技術は常にライティングと密接に結びついています。消費者のニーズに合わせ調和し、集中力や気分に合わせて、昼と夜の自然なリズムに身体を同期させることで、生活の活動におけるインテリアの質を定義させます。最先端のトレンドに加えて、スマートフォン対応の照明分野における画期的な次世代技術アプリが開発され、ホーム・オートメーション・システムと接続し、需要や状況に応じて迅速に回答し適応します。

メーカーと工業デザイナーが直面している真の課題は、照明のニーズを十分に満たしているかという**機能性**と、空間に暮らす人びとの感情や精神状態に働きかける**情動性**のバランスをとることです。

知的照明をはじめ、生活や仕事の新しい環境により適応するカスタマイズ可能な新しい照明が多く製品化されています。

精密度、細部への配慮、優雅さと完璧さが求められ、照明もはや単なる照明の域を超え、照明の問題を解決するソリューションとなっています。新しい技術は、物体としての照明の非物質化をもたらし、ますます合理化され、変化し、実質的に消滅し、光輝く痕跡のみを残すようになっていきます。シンプルなオブジェになっても空間の中で主張する存在感はまだ残っています。LED 光源が内蔵された軽量で「デマテリアリゼーション (脱物質化)」した構造で製品の複雑さを隠し、光が主人公となります。

【素材の探求】

- この「デマテリアリゼーション」のカウンターポイントは**素材の探求**です。まだ照明分野ではほとんど使われていない木材を取り入れたのはフィンランドの **Secto Design**。手作りの現代的な木製のランプの生産を専門とし、職人の手によって天井からの大きな照明が作られました。このオリジナルのバーチ合板の作品をデザインしたのは、多くの賞を受賞している建築家、**Seppo Koho**。それは単なる光源でなく、建築空間でもありません。
- **Foscarini** とデザイン・デュオの **Lucidi Pevere** によって作られた新しいペンダントライト、**Arumi** は、光沢のある内面での光の屈折により、光が当たると生き生きとする小さなアルミニウムの宝石と化します。
- **Michael Anastassiades** は、創立 10 周年を記念し、2015 年に生産された真鍮製のリミテッドエディションをベースに、**anodised aluminium** (陽極酸化アルミニウム) を彼のコレクション **One Well Known Sequence** で発表しました。照明の白い電球と黒い幹とベースが、時空を超えたグラフィックとなっています。
- **Barovier&Toso** は、ガラスという素材に取り組み、伝統的なプロセスを通じてイノベーションを追求し、長い歴史の中でムラーノ社によって保存され、伝承されてきた芸術的遺産に由来します。

- 2015年に Marcel Wanders が発表した大胆なシャンデリア、*Perseus* には、テーブルランプ、フロアランプ、ウォールランプ、2つの鐘型ペンダントライトなど、5つの新しいダイナミックカラークリエーションが登場し、イノベーションと伝統の完璧なシナジーが実現しました。
- ホウケイ酸ガラスのリブプレートは、シンプルながら審美的物質を持ち合わせています。Albero Saggia & Valerio Sommella のペンダントライト、*Nami* は Kundalini から。この長いラインの照明は、LED照明だけで構想され、直接と拡散、両方を光を放つサスペンションランプです。非常にシンプルで軽量の構造は真鍮製で、自然な仕上がりです。
- Simes の3つのコレクション、*Concrete*、*Aluminium*、*Wood* は、持続可能な異なる素材が完璧なバランスで、最大限の出力で強力な感情的インパクトを醸し出します。

【 LED テクノロジー 】

- Stefan Diez (サローネサテリテ卒業生) は、純粋な形の光からインスピレーションを引き出すVibia の *Guise* コレクションで、LEDテクノロジーの新しい使用法を考案しました。ガラスによって導かれた光は、それが端に達するか、または表面の縞模様によって屈折するまで見えなくなります。
- ウォールランプは、一連のLED照明を囲むディスクから構成されています。一連のLED照明はそのエッジで輝き、隣接する壁に反射します。Luta Bettonica の *Passepartout* (Cini & Nils) は、ステムから僅か数センチの距離からでも、内蔵されたセンサーが手の動きを察知し調光します。速い手の動きで照明をオン/オフし、上に手をかざすと調光器が作動します。
- Francisco Gomez Paz デザインの *Mesh* (Leceplan) は、劇的で非常に革新的なサスペンションランプの完璧な例であり、LEDの可能性の探究に基づいて照明オプションを選択できます。その構造は、光の強度を調整でき、最大8,000ルーメンの光束を実現する単一のLED、上部リング、下部、サイドセクションから、光源を選べます。

【 物語 のような照明 】

- Davide Groppi の *Infinito* (直接、拡散、間接的な光、の三部作の最終章) のように物語を語るデザイナーもいます。12メートルにも及ぶ非常に細長い特別な金属合金が、間接的な光を空間に演出します。
- Ross Lovegrove は、OLED技術の有機的な形にインスパイアされています。*Pyrosome* (LG) の明るい光は、同名の無脊椎動物の生物発光を連想させます。

【 感情の喚起 】

- 光は絶え間なく感情を喚起し、思考を促します。Daniel Libeskind がデザインした *Cordoba* (Slamp) は、伝統的で審美的な規範から離れ、建物と光が神秘的な雰囲気を作り出す同名のスペインの都市にインスパイアされています。テクノポリマーのフラットな葉の断片とその非対称性は、手作業で配置され、その研究の深さには目を見張る者があります。

【 新しい形状 】

新しい光源は、新しい形状を演出して新しい形を生み出すことを可能にしました。

- チェコの Brokis 社の **Lucie Koldova** デザインによる **Puro** は、「シガー」グリル(スペイン語で「Puro」はシガーと同じく純粋で汚れのないこと)は、透明と不透明が織り成すハンドブローされたガラスベルに掛けられています。
- **BIG architects** の **Alphabet of Light (Artemide)** は、新しい光源を作り出す発光素子のモジュラー・システムです。少数の基本的なモジュールが、柔軟性、機能性を備えた光のデザインを演出します。
- **Rene Roubicek** のシャンデリア、**And Why Not! (Lasvit)** は、形態と構成に実験を重ね、彫刻のような仕上がりで、ダイナミックな抽象化を基盤にした光です。光が光沢のある表面にスムーズに振動し、一度ガラスの魂に吸収されると独特な空間を作り出します。

【 超越した機能 】

- **Yonoh** のサスペンション・ランプ **Lent (Martinelli Luce)** は、元来の機能を超越し、特別な防音素材で覆われたリフレクターが音波を吸収し、残響を減衰させ、同時に内蔵の LED スポットライトが光を放射します。

【 復刻版 】

照明の分野でも、復刻が見られます。

- **Vico Magistretti and Joe Colombo** の **Coupé** シリーズ、**Atollo (Oluce)** は、今年それぞれ 40 周年と 50 周年を迎え、時代を超越したクラシックの地位を再認識させます。
- **FontanaArte** は、ガラスとそのプロセスが君臨していた時代を 2017 年のコレクションで再現。
- 1980 年に **Umberto Riva** によってデザインされたテーブルランプ、**Metafora** は、新しい光源であるオパリンガラスの層から作られた円錐形のディフューザーが金属構造のインターロックを隠す透明なガラスベースに支えられています。

-

【 ラグジュアリー 】

家具も照明も、コンセプトに「ラグジュアリー」を取り入れています。

- デザインは美しく余裕があり、かつ洗練された素材を使用、非常に特殊な製造プロセスの結果として得られる多くのディテールを誇っています。**Swarovski** はエウロルーチェを **Fredrikson Stallard** の **Glaciarium** コレクションをお披露目するに相応しい国際的な舞台として選びました。同時に同じ成分で構成されている 2 つのランプ、**Rock** と **Paradisium** も発表します。